

運氣・引き寄せ の効果も！

色 を味方つけて
コミュニケーション力UP！

ファッションにおける色彩心理



ファッションにおける色彩心理

- 色の特徴や心理的効果を上手に使って
ファッションやアクセサリーといった
身に付けるものにそれぞれの色を加えてみましょう。
- 色のイメージはその方のイメージを決めます。
ファッションとして取り入れることに
躊躇する場合は、持ち物でも結構です。

赤 プラスイメージ

勇気、情熱、元気、活力、陽気、
積極的、野望、暖かい、愛情、勝利、
活動、派手、華やか

マイナスイメージ

革命、危険、緊張、怒り
争い、過激、反抗

赤色の性格

- 赤のイメージからなる性格

赤が好きな人の性格もこのような傾向があります。

決断が速い、指導者、行動力がある、頑張り屋、元気、
負けず嫌い、上昇志向、脚光を浴びたい、派手好き、
目立ちたがり、飽き性、まわりを疲れさせる、
慎重さに欠ける、怒りっぽい、ケンカっ早い、
手のひらを返す、せっかち、感情で動く、持続性が欠ける

赤で自分をコントロール

- 明るい赤は元気を与え人を積極的・活動的にさせます。
- 暗い赤、濃い赤はストレスを和らげてくれます。
- 会議や発表の場にあると積極的な意見が期待できるようになります。
- 強さを身につけるには赤が効果的です。
- 赤を身につけることで身体的パフォーマンスを高める
アドレナリンの分泌が活発になり、気力と体力を強化し
戦って勝ちたい欲求を引き上げてくれます。

アドバイス

- 比較的男性が好む色となっています。
(女性に対しても)
- 自律神経でも交感神経に働くので、元気が出ない時に少しだけでも取り入れるといいでしょう。
- 頭寒足熱という言葉があるように、冷え性の方は冬赤い靴下を履くと体感温度が変わります。
- 人に謝るときは赤い服やネクタイは避けてください。
相手の方にも興奮させてしまうのでタブーな色です。

桃色・ピンク

プラスイメージ

エレガント・女性的・繊細・
優しい、幸福、解放、愛情、若い

マイナスイメージ

繊細、幼稚、不安定、弱い

ピンクの性格

- ピンクのイメージからなる性格
ピンクが好きな人の性格もこのような傾向があります。

優しい、世話好き、甘え上手、外見美、ロマンチスト、ヒロイン、
見た目を大事にする、自分をかわいく見せたい、外見に執着、
よく気がつく、思いやりがある、繊細、女性らしさがある、
育ちがいい、相談に乗ってくれる、ちゃっかりしている、
結果を人のせいにする、こびる、損得で動く

ピンクで自分をコントロール

- ピンク色は感謝や愛をつたえる意味を持つ色です。
- 男性がピンクのワイシャツやネクタイを身につけていると女性とのコミュニケーションを取りやすくなる効果が期待できます。会話のきっかけにもなります。
- 過度にあると不快感を与えることがあるので注意しましょう。

アドバイス

- 美しくなるためには必要な色です。幸せな気分を作り女性ホルモンの分泌を助けます。
- 血行をよくし肌の潤いを保つピンクは積極的に取り入れたい色です。
- 血色がない場合、チークや口紅を入れることで健康的に見えます。

橙

プラスイメージ

陽気、元気。暖かい、明朗、親切
家庭的、元気、にぎやか、陽気

マイナスイメージ

わがまま、下品、八方美人

橙・オレンジの性格

- 橙・オレンジのイメージからなる性格
この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

チャレンジ精神が旺盛、積極的、世話好き、
仲間意識が強い、社交性が高い、明るい
リーダーシップがある、目立ちたがり屋で寂しがり屋、
人懐っこい、自分に自信がある、 オールマイティ、
親切、何にでも首を突っ込む、うるさい、見栄っ張り、
ノリが合わないとはダメ、元気に見られたい、
小さなことでも幸せを感じる、嫌と言えない、
頑張っている自分が好き

橙・オレンジで自分をコントロール

- 喜びや幸福感、親しみ、元気、明るいといったポジティブな印象を強く受けるのでいろんなシーンで使えます。
- 親しみが生まれ仲間意識を高める。
- 緊張を和らげ力を出せる状態にする。
- 女性からの興味が強い色です。
- 本気を出したいときに効果を発揮する色です。プレッシャーから来る緊張を弱めて力を出せる状態にしてくれます。
スポーツで結果を出したいときにも使えます。
- 個性を出したいときに使えます。
- 笑顔が作りやすく、表情が豊かになります。

アドバイス

- 人と結びつきが強い色です。
- 橙色が暗くなれば茶色になります。
明るくなればベージュや肌色になり色の領域は広くあります。
これらは同じ色相の色なので相性が良くよく馴染みます。
- 使いすぎると、くどくなったり、しつこい、ケバケバしい等といった印象になるので注意しましょう。

黄

プラスイメージ

笑い、陽気、希望、光、愉快、
明るい、楽しい、活発、幸福

マイナスイメージ

未熟、軽薄、危険、緊張、
不安、軽率

黄色の性格

- 黄色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

明るい、フレンドリー、マイペース、ユーモアがある、
好奇心旺盛、知識欲が強い、無邪気、お調子者、
周りの状況を考えない、毒舌家、知ったかぶり、無神経、
悪ふざけする、イメージリーダー、自己中心的、浪費が多い、
子どもっぽい、頭の回転が速い、おしゃべり、
寂しがり屋、批評家、冒険好き

黄色で自分をコントロール

- 喜びや幸福感、親しみ、元気、明るいといったポジティブな印象を強く受けるのでいろんなシーンで使えます。
- 親しみが生まれ仲間意識を高める。
- 緊張を和らげ力を出せる状態にする。
- 女性からの興味が強い色です。
- 本気を出したいときに効果を発揮する色です。
プレッシャーから来る緊張を弱めて力を出せる状態にしてくれます。スポーツで結果を出したいときにも使えます。
- 個性を出したいときに使えます。
- 笑顔が作りやすく、表情が豊かになります。

アドバイス

- 男性よりも女性に好まれる色
- 見ているだけで心を弾ませ楽しい気分になさしてくれるのでコミュニケーションを円滑にしてくれます。
- 黄は黒と合わせると視認性が高くなり非常に目立つようになります。
- 楽しい気分や喜びを与える色です。
- 元気で賑やか明るいのが黄色ですが度を越すとうるさいイメージになります。
- 初対面の時フレンドリーなイメージを与えます。
- 仲直りしたい時 身につけるといいでしょう。

緑

プラスイメージ

さわやか、平和、静寂、安心、
平静、若さ、新鮮、癒し、安全

マイナスイメージ

青ざめる、未熟、受動的、保守的

緑色の性格

- 緑色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

若々しく前向き、努力家、優しい、けんかできない、
森が好き、植物が好き、ずっと寝ていたい、
穏やかな人が好き、自分の感覚を大事にしている、
リラックスしている、平和主義、バランス感覚がいい、
気遣いができる、現実志向、いい人で終わる、
緊急事態に弱い、平凡、色気ない、脇役タイプ

緑色で自分をコントロール

- 緑を身につけることによって自然体な気持ちになれます。
- 柔らかい表情を出したり緊張した感じをほぐすのにも効果的です。
- 状況や意識を変化させたいときにも緑色のアイテムを身につけたりしましょう。
- 緑色のものを持っていない人こそ普段ない色を使うことによって切り替えができます。
- 淡い緑は相手に合わせる優しさが生まれます。
- 自己主張を抑えて柔軟な考え方ができます。
- おっとりした優しい人になります。

アドバイス

- 男性の方に好まれています。
- 目に負担をかけない優しい色です。
- 心や筋肉の緊張をほぐして疲れを癒やしてくれます。
- 疲れているとき、人の目を気にしているとき緑が気になります。
- 緑を身につけることによって自然体でいこうという気持ちになれます。
- 柔らかい表情を出したり緊張した感じをほぐすのにも効果的です。

青

プラスイメージ

冷静、誠実、沈静、静寂、
責任、青春、信頼、開放感、知性

マイナスイメージ

寂しい、冷たい、陰うつ、
涙、悲しみ、不安、冷酷、悲しみ、

青色の性格

- 青色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

信用できる、戦略的、ストイック、プライドが高い、冷静、常識人、慎重、相手を尊重する、思いやり、気配り、謙虚、サポーター、品性がある、世間体を気にする、控えめ、八方美人、ミスを許さない、遊び心に欠ける、冷たい印象、恥ずかしがり屋、ルールにとらわれる、ノリが悪い、自分をおごなりにする、人にも気を遣わせる、責任のない場所に安住、意思が弱い、優柔不断、静かにしていきたい、自分がどう見られているか気になる、知的でいたい、笑われたくない

青色で自分をコントロール

- 青は精神統一と集中を助け、進むべき道を思い出させてくれます。感情に走らず理性的になる青の力は目標までやり抜く意志の強さを与えてくれます。
- 青は規律を感じさせ言葉遣いやルールを守る意識が高くなります。
- 青でも、水色でも、紺でも、青系の色を使うと知的で控えめな人になります。

アドバイス

- 青色は男性がより好み、水色は女性がより好む色になっています。
- 青でも、水色でも、紺でも、青系の色を使うと知的で控えめな人になります。
- まじめにやっていると受け止められやすい色です。
- 青系をファッションにしたり青の空間にしていると作業に専念しやすく、はしゃぎすぎることを抑えてくれます。
- 青は精神統一と集中を助けてくれます。
- 水色は透明感のある美しさがアップします。
涼しげな雰囲気になり静かで優しい感じの魅力が増します。
より知的な顔になっていくのでいい印象を作れます。

紫

プラスイメージ

威厳、品位、伝統的、格式、粋、
優美、神秘、優雅、女性
高貴、優雅、感性

マイナスイメージ

メランコリー、繊細、悲哀、病的、
不安、嫉妬、不安定、下品、孤独、二面性

紫色の性格

- 紫色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

美意識が高い、精神性が高い、ミステリアス、
こだわりが強い、浮き世離れ、協調性がない、効率が悪い、
理解しづらい面がある、妄想癖、現実逃避、人と同じなのは嫌、
優しい、静かな所が落ち着く、絵が好き、芸術に関わっていたい、
自分のセンスに自信がある、繊細、少し変わっている、
クリエイター、ナルシスト

紫色で自分をコントロール

- 紫は心の状態を写し出します。
- 紫を見て優雅さや神秘的な雰囲気を感じる時にはプラスの思考が、下品で卑しい気分を感じる時はマイナスな思考が働いていると考えられます。
- 紫のものは心や体のバランスを整えてくれます。
- 筋肉の緊張の緩和、感情の乱れなど頭部に関係した症状に対して自己回復を促します。気分を落ち着かせ、安眠の効果もあるので寝室にあるといい色です。

アドバイス

- 女性らしさをアピールし魅力的に見せます。
- 薄紫は上品で優雅、濃い紫は妖艶な美しさといったイメージで個性を引き出します。
- 青と赤が混ざり合い多様な色合いが生み出される紫は、
- 感性を鋭くしインスピレーションを高めてくれます。
- 動の赤と静の青、相反する色が共存しているため
「高貴と下品」「神秘と不安」など二面性をもっています。
- 場面によって色の性格が変わる複雑な色です。
- 色と素材によって品格が変わってくるので注意してください。

白

プラスイメージ

清潔、純粹、軽快、純潔、純真
従順、平和、神聖、希望、再生
スピード、潔癖、祝福、勝利

マイナスイメージ

淡泊、空白、軽薄、空虚、
軽々しい、冷淡、薄情、空虚、
味気ない

白色の性格

- 白色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

意志が固い、正義感が強い、理想主義、潔癖、純粹、正直、素直、真面目、いつも自分は正しい、無駄なことが許せない、理想に向かって努力する、シンプルなことが好き、人を信じる、嘘が嫌い、暗いのが怖い、神様を信じている、完璧主義者、機能的実用的なものを好む、世間離れした所がある

白色で自分をコントロール

- 邪気を払ってくれる白は人間関係を円滑にしてくれます。
- 白の個性を受け入れる協調性や安心できる清潔感是人受けを良くします。
- 白は切り替えの作用があるので前向きな気持ちになる
- パワーをくれます。白の軽いイメージは身体の不調も軽くしてくれます。

アドバイス

- 白色は好きという人が多く嫌いな人が少ない色です。
- どんな色と合わせても馴染んで調和します。
- スタートを決意させる始まりの色、リセットして新たにやり直す再出発の色です。
- 白色は灰色や黒色と同じ無彩の色です。
- 信頼感や清潔感といったクリーンなイメージを与えるので高い好感度があります。
- 光を透過する白は健康には一番良い色とされています。

灰

プラスイメージ

上品、落ち着き、穏やか、信頼

マイナスイメージ

曖昧、無気力、憂鬱、地味

灰色の性格

- 灰色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

温厚、中立を保つ、控えめ、名脇役、大人しい、用心深い、
デリケート、物腰が柔らかい、スマート、
いやがることを黙ってやる、派手なものが怖い、
自信がない、人に嫌われたくない、軽薄を好む、
優柔不断、社交性に欠ける、防御本能が強い、
感情を出さない、はっきりさせない、恋愛が苦手

灰色で自分をコントロール

- 苛立ちや疲れといったストレスを和らげいたわる効果があります。
- 灰色はバランス感覚を高めてくれます。
- 周りの状況を考えたり、相手に調子を合わせて行動できるようになります。
- 周囲に埋もれて個性を弱めてしまうので目立ちたくないときには効果的です。

アドバイス

- 灰色は他の色との協調性が高くどんな色にも馴染みます。自己主張せず周囲の色を引き立てる調和の色です。控えめな上品さがあります。
- メインカラーを引き立てたり、補色の色の間のクッションとしても灰色は使い勝手がいい色です。
- 本質的に他の色を目立たせる効果があります。
- クールやスタイリッシュといったエレガントな印象を与える色として認知されています。

黒

プラスイメージ

重厚、重要な、荘厳、都会的、
力強い、高級、神秘、自信、威厳

マイナスイメージ

不吉、絶望、恐怖、死、敗北、
沈黙、悲哀、絶望、孤独、暗い

黒色の性格

- 黒色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

無口、ひとりが好き、音楽が好き、打ち解けない、
嫌われ者と思っている、才能があると思っている、
他人が怖い、孤独、独立心が強い、完璧主義、威厳、
粘り強い、ポーカーフフェイス、自信過剰、近寄りがたい、
秘密主義、強情、干渉されたくない、芸術肌、反骨精神旺盛

黒色で自分をコントロール

- 威圧感のある色なので意見を通したいときや譲歩をせず交渉を進めたいときにいい色です。
- 断固とした強い意志や不屈さを感じさせます。
- 人を寄せ付けたくないとき、周囲に左右されないとき黒を使うことで距離をおけます。
- 独立心や孤独になりたい気持ちが強いとき、自分の弱さや不安や悲しみを隠したいときには黒に惹かれます。
- 自分の個性を主張したいときに黒は自分に殻を作ってくれます。

アドバイス

- 周囲の色を引き締めて目立たせます。他の色に与える影響が強く、色を組み合わせたときには黒のイメージが上乘せされます。
- 強さや権威、神秘的な雰囲気を感じさせる色ですが他の色に比べて負のイメージが潜在的にあります。
- 黒は有彩色をもっとも引き立たせる色です。落ち着きや威厳、高級感、モダンな雰囲気を加えるので組み合わせに便利な色です。
- 黒は老化の色です。光を遮断するためエネルギーが伝わってこない状態になり力がなくなり衰えにつながります。
- 特に下着として身につけないことをお勧めします。

茶

プラスイメージ

温和、安定、伝統、堅実

マイナスイメージ

地味、頑固、退屈

茶色の性格

- 茶色のイメージからなる性格

この色が好きな人の性格もこのような傾向があります。

堅実的、安定志向、マイペース、信頼がおける、
現状維持を好む、変化を嫌う、自然志向、頑固者、
堅物、遊び心に欠ける、仲良くなるのに時間がかかる、
泥臭い、融通が利かない、落ち着いている、
人の後ろにいる方が好き、不満を我慢する、
目立ちたくない、隠居したい、コツコツやりたいタイプ

茶色で自分をコントロール

- しっかりと地に足をおろして着実に進む道を気づかせてくれます。
- 慣れていることや地道にコツコツやる単純作業をするときにも茶色は能率を上げてくれます。
- いつも暴走気味の人を抑制したいときには茶色のものを持たせてみると落ち着いてくれるかもしれません。
- 重要なことを決める会議の場としてはいいですがアイデアがたくさん必要なクリエイティブな会議では思考が現実的な方へと向かってしまいます。

アドバイス

- 緑と共に自然を感じさせる色です。
- 緑と同じように癒しの効果もあります。
- オレンジの明度を低くした色なのでオレンジの要素も併せ持っています。
- 茶色の渋さは粹に感じます。

ファッションにおける色彩心理

好きな色は主観的なもので
似合う色は客観的なものです。

あなたが身につける「色」は
相手の方の心理にも大きく影響します。

色の心理的効果を上手に使って人との
コミュニケーション力アップに役立ててください。

*参考資料 色カラー